

発行所：一般社団法人 佐賀県臨床検査技師会  
 〒849-8501 TEL:070-2392-1447 FAX:0952-34-2028  
 事務局：佐賀大学医学部附属病院 検査部内

発行人：百田 浩志 編集人：福田 正博  
 URL : http://saringi.jp/  
 Email : saringi-jimu@saga.email.ne.jp (事務局)

## 2019年度 第1回理事会報告

2019年4月18日(木)佐賀大学医学部附属病院で標記理事会を開催しましたので報告します。(堤)

### 議題

#### 1. 総会議案書(案)について

議長は、第1号議案について百田・堤・内田・平野理事に説明を求めた。百田理事は総括を、堤理事は総務、会計および決算を、内田、平野理事はそれぞれ涉外法規・組織、学術の事業報告の説明を行った。

慎重審議の結果、若干の誤字脱字の修正を行い、承認された。

## 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会のご案内

九州での開催予定は下記で最後です。

【開催日】 2019/09/14(土)～2019/09/15(日)

【開催場所】 福岡県 純真学園大学 本館6階 大ホール

なお、日臨技HPトップの「新・検体採取業務」から「講習会に参加を申し込む」で他地区の研修会を含め確認・申込みできます。

## 第68回日本医学検査学会報告

5月18(土)～19(日)に、山口県下関市で開催された標記学会に参加しました。メインテーマは、「維新 Innovation」、サブテーマは、「一確かな知性と技術の躍進」でした。

山口県会長 渋谷秀美学会長の下、標記学会が開催された。地元の方も、「下関では珍しい強風」と言われる中、2日間の学会は滞りなく進行していた。

メイン会場となったシーモールパレスでは演題や情報交換会、屋根つきの空中歩道で結ばれた、大ホールを備える市民会館では主に講演、シャトルバスで5分ほど離れた海峡メッセでは展示、その隣の下関市生涯学習プラザでは演題という構成であった。地方開催の弱点である会場分散による移動の手間感が残った。また、情報交換会が2室に分断されていたのも、今後の課題として挙がってくるだろう。(百田)

前回の第67回学会でも同様の内容を書きましたが、年々実行委員会の委員数が減っており、総合受付やスライド受付は全くと言っていいほど混雑しておらず、少ない人数でも全国規模の学会運営ができるようになってきました。少ない実行委員で学会運営の知恵を出し合い万全の準備を行い、学会当日を迎えられたと思われま。

企業展示スタンプラリーはプログラム集に掲載されており、会員が参加しやすい工夫がみられました。

一般演題発表後、共同演者が登壇し質疑に答えたことは驚きで、発表スタイルの変化を感じました。(堤)

情報交換会は、多くの方の参加があり盛会でした。始まりはアトラクションとして、安徳天皇や平家一門をしのぶ上臈(じょうろう)道中が披露され、間近で外八文字を拝見いたしました。また、中四

国支部からの地酒自慢コーナーが設置されており、下関の美味しいものとお酒をいただきながら交流を深めました。最近、リラックスして情報を交換できる会が企画されていますので、若い臨床検査技師も是非参加していただきたいと思います。(内田)

宮島喜文会長基調講演では、臨床検査技師の教育制度改革について、指定校、承認校が混在する現状について触れ、現行の国試受験要件や単位数の見直し、特に総合臨床実習(臨地実習)の強化などについて、現在の取り組み内容を説明されました。

シンポジウム7(臨床化学)の「都道府県臨床検査技師会の外部精度管理の在り方について—医療法改正を受けて—」では、医療法改正に伴う外部精度管理をどのようにしていくかについて、各県の取り組み内容や課題が報告され、活発なディスカッションとなりました。医師会からの情報発信をはじめ、是正対策研修会の開催などによるフォローアップの必要性やPOCTの外部精度管理をどうしていくかなどについて討議され非常に有意義なシンポジウムとなりました。

シンポジウム10(がんゲノム医療)では、がんゲノム医療についての準備状況や問題点、現在保険収載予定のパネル検査の概略について説明がありました。医療法改正において、遺伝子・染色体検査の要件は厳しく、内部・外部精度管理及び研修の実施は義務となっていることから、臨床検査技師が中心となって体制づくりを行わなければいけないと感じました。今後は認定病理検査技師や認定臨床染色体遺伝子検査師などが積極的に関与していくとともに、がんゲノム医療コーディネーターとしてのかかわりも必要であると感じました。

全国学会は、我々臨床検査技師にとって、日々の業務改善や知識のアップデートには絶好の場です。今年度は、佐賀大学医学部附属病院の安藤彩技師が座長として参加しましたが、一般演題発表はなく非常に残念な学会となりました。来年度の第69回は福島県担当で仙台市で開催されます。来年度も多くの会員の皆様に参加していただき、演題発表についても各施設において特に積極的な取り組みをよろしく願います。(平野)

佐賀大学病院の安藤彩技師が5月18日の生理検査(脳波分野三演題)の座長をつとめられました。

フロアからの質疑、座長自らの質問などが活発にあり、また時間通りに収めるなど初めてとは思えぬ落ち着きでした。(田辺)

## 5月三役活動報告

14日(火) 三役会(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 18～19日 第68回日本医学検査学会(下関市)・・・・・・・・全三役  
 26日(日) 第23回佐賀県医学検査学会(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 26日(日) がん予防啓発事業(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 26日(日) 定期総会(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 26日(日) 理事会(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 26日(日) 親睦会(佐賀市)・・・・・・・・全三役  
 27日(月) 輸血療法委員会(佐賀市)・・・・・・・・百田